

メタロック R-141

メタロック R-141 の特徴、用途

- ・ メタロック R-141 は、塩素系溶剤規制や鉛化合物規制に対応した環境対策製品です。
- ・ メタロック R-141 は、メタロック R-31 と同等の接着性能を有しています。
- ・ メタロック R-141 は、メタロック R-146 よりもゴム、金属、プラスチック等との接着性に優れています。

用途

- A. 繊維類と未加硫ゴムとの加硫接着
- B. プラスチックと未加硫ゴムとの加硫接着
- C. 異種未加硫ゴム間の加硫接着 及び、加硫ゴムと未加硫ゴム間の加硫接着

接着可能なゴム、繊維、プラスチック

- NR、SBR、BR、CR、NBR、IIR、EPDM、CSM
- 綿、レーヨン、ビニロン、各種ナイロン、ポリエステル、PVC 等

メタロック R-141 の性状

外 観	黒色液体	粘 度	40 ~ 200 mPa・s (20°C)
比 重	0.89 ~ 0.95 (20°C)		(ただし、チキソ性あり)
不揮発分	10 ~ 16 %	主 溶 剤	キシレン
貯蔵安定期間	6ヶ月	希釈溶剤	トルエン , キシレン

接 着 方 法

- A. 繊維類と未加硫ゴムとの加硫接着
繊維類に R-141 の原液又は、希釈液を塗布・乾燥し、未加硫ゴムを圧着加硫接着する。(乾燥温度は、80°C以下が望ましい)
- B. プラスチックと未加硫ゴムとの加硫接着
プラスチックの表面を溶剤等で脱脂後 R-141 を塗布、乾燥し、未加硫ゴムを圧着加硫接着する。プラスチックとの接着性能が不十分なときは、下塗接着剤としてメタロック PH-50、PH-56 等をご使用下さい。
- C. 異種未加硫ゴム間の加硫接着 及び、加硫ゴムと未加硫ゴム間の加硫接着
被着ゴムの片面又は、両面に R-141 を塗布、乾燥後 貼り合わせて加硫接着する。
加硫ゴムの場合、予め表面をバフ掛け後、溶剤で清浄化しておくこと接着は向上します。

取り扱い上の注意

- メタロック R-141 は、チキソトロピー的な性質があります。また分散剤を配合していますのでご使用前に攪拌機等で充分攪拌してご使用下さい。
希釈して使用されますとチキソトロピー的な性質は、薄らぎます。
- 不揮発性イソシアネート類を配合していますので、水分等の配慮から容器のフタは使用時以外は密閉して保存して下さい。
- この製品には有機溶剤を使用していますので、労働安全衛生、消防法上 換気及び火気に十分注意して下さい。

株式会社 東洋化学研究所

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 1-5-1

TEL0798-33-6213 FAX0798-33-6473

2017.02.20 現在